



第36回 スマイル インタビュー



音訳ボランティアを始めたいきっかけは何ですか。

私は若いころに病気をして多くの皆さんのお世話になりました。40年前、世間への恩返しをと思って点字サークルに入りましたが、そのとき中途失明で点字が読めない方のために朗読ボランティアが始まったのを知り参加したのがきっかけです。当初はラジカセを使い録音場所も自宅でした。物売りの声が入ったりした失敗談も懐かしいですね。



意外に難しいと感じた点があれば教えてください。

朗読は、単に本を読むのは大きく違いました。扱っているのは大切な情報なので間違いなく伝えることが大切です。"1"はイチと読み"7"はナナと読むなどの配慮をしてい

ます。また、短期間に、かなりの量を一

気に読むので、読む速さや声の調子を保つのも大変でした。NHKのアナウンズ教室で勉強したり、体が資本なので健康にも特に気をつけています。



音訳CDを再生するプレイヤー

やりがいを感じるのとはどんなときですか。

毎回CDが完成し利用者に発送し終えたときはほっとします。過去には投函後にカセットテープの録音不良に気づき、郵便局にお願いして回収したこともあり。ミス防止するため、今は必ず2人で録音しています。40年間、欠かさず発行出来ていることには満足しています。



利用者の方へCDを届ける専用袋

市民のみなさんに伝えたいことは。

音訳の対象は、市広報、市議会だより、そして社協だよりと民児協だよりですが、余裕があれば、ご希望のあった小説の朗読も加えています。現在は高田郁の「あきない世傳金と銀」を読んでいます。最近、中国新聞に「あけぼの」が紹介されました。すると読者から自分も欲しいとの電話があり嬉しかったですね。視覚障害者向け郵便は無料なので、この音訳サービスがあることを広く知っていただき、必要な方は利用してほしいと思います。また、音訳ボランティアに参加してみたい方も大歓迎です。から、ともに大竹市社会福祉協議会までご連絡下さい。



録音機材

【お問合せ】

大竹市社会福祉協議会
TEL 0827-1521221

あとがき

市議会だよりをいつもご覧いただき大変ありがとうございます。広報広聴特別委員会では、いつでも委員全員が参加できるようにオンライン会議も行いました。内容も読みやすいようにイラストや写真を多めに取り入れ、より良い市議会だより作成のため、日々検討を重ねています。

コロナもまだまだ終息が見えず、世界情勢も不安定の中、少しでもみなさんに明るい希望がもてるようしっかり取り組んでまいります。

中川 智之

広報広聴特別委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 小田上 尚典 |
| 副委員長 | 寺岡 公章 |
| | 藤川 和弘 |
| | 中川 智之 |
| | 山崎 年一 |
| | 日域 雅子 |
| | 細川 雅子 |

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

